



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月31日

上場会社名 株式会社カワタ 上場取引所 東
 コード番号 6292 URL <https://www.kawata.cc/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白石 亙
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理部門統括 (氏名) 藤坂 祐宏 (TEL) 06-6531-8211
 四半期報告書提出予定日 2022年11月9日 配当支払開始予定日 2022年12月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	7,843	△7.2	△38	—	185	△41.1	△31	—
2022年3月期第2四半期	8,450	△2.8	289	△3.3	314	11.7	159	20.8

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 487百万円(6.4%) 2022年3月期第2四半期 458百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△4.52	—
2022年3月期第2四半期	22.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	23,259	11,705	49.4
2022年3月期	22,036	11,322	50.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 11,489百万円 2022年3月期 11,124百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2023年3月期	—	20.50			
2023年3月期(予想)			—	20.50	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,600	6.6	790	3.9	1,000	10.7	570	5.4	81.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期2Q	7,210,000株	2022年3月期	7,210,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	231,502株	2022年3月期	233,849株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期2Q	6,977,165株	2022年3月期2Q	6,976,151株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、引き続き中国を除く主要国におけるウイズコロナ政策への方針転換により経済活動正常化が進む一方、ウクライナ情勢の長期化や中国での厳格なゼロコロナ政策の継続など地政学的リスクが高まるなか、資源価格の高騰や欧米におけるインフレ率の急激な上昇に伴う金融引き締めの加速など、先行き不透明感が更に強まっております。

わが国経済も、ワクチン接種の普及とウイズコロナ政策の進展に伴う各種制限の緩和により景気回復基調が続いておりますが、資源価格の高騰や円安等に伴う物価上昇などの景気下押し圧力もあり、先行き不透明な状況が続いております。一方、設備投資の動向を知るうえで先行指標の一つである機械受注統計の推移を見ると、製造業の機械受注額は、2021年10月～12月は13,014億円（前年同期比23.4%増）、2022年1月～3月は13,112億円（同24.2%増）、4月～6月は14,300億円（同21.2%増）、7月は4,506億円、8月は4,963億円と回復基調で推移しております。

このような環境下、当社グループは、新型コロナウイルス感染拡大防止への対応として、引き続き各セグメントが属する国の状況に応じて時差出勤や在宅勤務等を実施しながら、プラスチック成形関連のコアビジネスにおきまして、品質の向上、納期の確守、新製品の開発等、競争力強化によるマーケットシェアの拡大を図るとともに、電池、食品、化粧品等の新規販売分野の開拓・拡大に注力してまいりました。

この結果、当第2四半期における受注高は前年同期比12億2千3百万円増（同11.3%増）の120億3千3百万円となり、受注残高は前年同期比51億4千8百万円増（同71.5%増）の123億4千6百万円となりました。一方、売上高につきましては、中国のゼロコロナ政策等に伴いサプライチェーンの混乱が続くなかで部品の供給不足が長期化していることに加え、上海市のロックダウンに伴い中国子会社において一時的な工場の操業停止を余儀なくされたことなどにより、前年同期比6億6百万円減（同7.2%減）の78億4千3百万円となりました。

損益面では、材料費を中心とした原価低減や諸経費の削減に努めたことなどにより売上総利益率は改善（28.2%→28.7%）したものの、売上高の減少に伴う売上総利益の減少と販売費及び一般管理費の増加等により、3千8百万円の営業損失（前年同期は2億8千9百万円の営業利益）となりました。一方、経常利益については2億2千1百万円の為替差益の計上等により前年同期比1億2千9百万円減（同41.1%減）の1億8千5百万円となりました。

特別損益では、投資有価証券売却益6百万円を特別利益に計上するとともに、中国子会社の操業停止期間中の製造固定費1億8百万円を新型コロナウイルス感染症関連損失として特別損失に計上し、更に法人税、住民税及び事業税1億4千8百万円、法人税等調整額マイナス3千5百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純損失は3千1百万円（前年同期は1億5千9百万円の四半期純利益）となりました。

日本におきましては、日用雑貨や容器・物流関連、新素材・食品シート関連を中心とした受注が堅調に推移していることに加え、電気自動車（EV）向けのリチウムイオン電池関連の受注が堅調に推移したこと等により売上高は前年同期比5億9百万円増（同10.0%増）の55億9千6百万円となりました。損益面では、資源価格の高騰などにより売上総利益率が悪化（26.0%→24.5%）したこと等により、販売費及び一般管理費の増加を吸収するまでには至らず、営業利益は前年同期比5千1百万円減（同19.4%減）の2億1千4百万円となりましたが、セグメント利益（経常利益）は為替差益の計上等により前年同期比2億3千9百万円増（同77.3%増）の5億4千8百万円となりました。

東アジアにおきましては、引き続き電気自動車（EV）向けのリチウムイオン電池関連並びにスマホ・VR用レンズ関連の受注は堅調に推移したものの、中国のゼロコロナ政策に伴う上海市のロックダウンにより一時的な工場の操業停止を余儀なくされたことから、売上高は前年同期比11億1千9百万円減（同37.2%減）の18億8千5百万円となりました。損益面においては、操業停止期間中の製造固定費を特別損失に振替したこと等により、売上総利益率は改善（25.3%→30.2%）したものの、売上高の減少により売上総利益が減少し、営業損失が1億6千4百万円（前年同期は4千4百万円の営業利益）、セグメント損失（経常損失）が1億6千2百万円（前年同期は2千1百万円の経常利益）となりました。

東南アジアにおきましては、各国のウイズコロナ政策の推進のもと、設備投資は回復基調にあるものの、中国子会社における工場の操業停止により、同社製品の販売活動が制限されたことなどにより、売上高は前年同期比1千4百万円増（同1.8%増）の8億4千8百万円にとどまりました。損益面では、売上総利益率は改善（32.6%→36.7%）したものの、販売費及び一般管理費の増加を吸収するには至らず、営業損失が1千2百万円（前年同期は4百万円の営業利益）となり、セグメント損失（経常損失）が9百万円（前年同期は1千万円の経常利益）となりました。

北中米におきましては、中米では自動車関連を中心とした需要は回復しつつあるものの、設備投資の回復までには至らず、売上高は前年同期比7百万円減（同7.4%減）の8千7百万円となりました。損益面では、売上高の減少に伴う売上総利益の減少等により、営業損失が5千9百万円（前年同期は3千8百万円の営業損失）、セグメント損失（経常損失）が2千9百万円（前年同期は3千5百万円の経常損失）となりました。

なお、報告セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、受取手形、売掛金及び契約資産が減少しましたが、現金及び預金、仕掛品、原材料及び貯蔵品が増加したこと等により7億7千7百万円増加し、173億8千2百万円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べて、建物及び構築物、土地が増加したこと等により4億4千5百万円増加し、58億7千7百万円となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて12億2千2百万円増加し、232億5千9百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、短期借入金が増加したこと等により6億8千万円増加し、76億2千9百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べて、長期借入金、退職給付に係る負債が増加したこと等により1億5千8百万円増加し、39億2千4百万円となりました。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて8億3千9百万円増加し、115億5千3百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、利益剰余金、その他有価証券評価差額金が減少しましたが、為替換算調整勘定が増加したこと等により3億8千3百万円増加し、117億5百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、中国を除く主要各国におけるウイズコロナ政策の推進のもと、緩やかな回復基調が続いてきましたが、インフレの加速とそれに伴う各国中央銀行の相次ぐ金融引き締めにより不透明感が強まってきております。また、資源価格の高騰とウクライナ情勢の長期化や中国における厳格なゼロコロナ政策の継続など地政学的リスクが高まるなか、景気の不安定感は一層強まるものと予想されます。

わが国経済も、ウイズコロナ政策のもと、経済活動の正常化に向けた回復の動きが続いているものの、原材料価格の高騰や急激な円安の進展等により景気下振れリスクが強まっております。

このような内外情勢のもと、当社グループでは受注は堅調に推移しているものの、売上高については上半期での不足分を下半期でカバーするには至らないと予想されることから、2022年10月31日に2023年3月期の連結業績予想の修正を行っております。修正の内容並びに修正の理由につきましては、2022年10月31日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

かかる環境下、当社グループにおきましては、引き続き自動車関連業界における自動車の電動化、自動運転化、車体の軽量化等に積極的に技術や資源を投入するとともに、ウイズコロナの環境のもと、社会の環境変化に伴うタブレット、PC、スマホ、VR等の通信機器拡大、AI、IoT、5G等のデジタル化推進の動きへの確に対応してまいります。また、既存市場、既存分野での販売拡大と収益力向上等に加えて新規市場や成長分野への事業展開の強化を中長期的に取り組んでまいります。世界レベルでの環境問題（脱炭素、使い捨てプラスチックの削減）に対しては、お客様の生産現場や自社の事業活動及びお客様の製造物を通じて社会に貢献し、透明性の高い企業統治（コーポレートガバナンス）等を実現していくことで経営基盤の強化とESG経営を強化いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,764,843	7,196,984
受取手形、売掛金及び契約資産	6,495,503	5,742,769
商品及び製品	613,859	759,147
仕掛品	1,040,159	1,439,331
原材料及び貯蔵品	1,235,660	1,632,927
その他	495,102	664,092
貸倒引当金	△40,394	△52,998
流動資産合計	16,604,733	17,382,255
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,140,359	2,229,774
土地	1,567,100	1,635,922
その他（純額）	524,038	796,829
有形固定資産合計	4,231,498	4,662,526
無形固定資産		
その他	542,133	597,527
無形固定資産合計	542,133	597,527
投資その他の資産		
その他	660,073	619,091
貸倒引当金	△2,107	△2,107
投資その他の資産合計	657,966	616,984
固定資産合計	5,431,598	5,877,038
資産合計	22,036,331	23,259,294
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,560,399	2,566,107
短期借入金	2,200,798	2,475,790
1年内償還予定の社債	18,750	—
未払法人税等	143,219	171,673
製品保証引当金	123,035	119,633
役員賞与引当金	52,656	—
その他	1,849,456	2,296,000
流動負債合計	6,948,315	7,629,204
固定負債		
長期借入金	2,590,002	2,754,000
役員株式給付引当金	13,850	11,920
退職給付に係る負債	932,610	1,018,893
その他	229,502	139,667
固定負債合計	3,765,965	3,924,480
負債合計	10,714,280	11,553,685

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	977,142	977,142
資本剰余金	1,069,391	1,069,391
利益剰余金	8,713,037	8,575,299
自己株式	△133,654	△131,654
株主資本合計	10,625,917	10,490,178
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	108,487	89,629
為替換算調整勘定	389,734	909,207
その他の包括利益累計額合計	498,221	998,837
非支配株主持分	197,911	216,593
純資産合計	11,322,050	11,705,609
負債純資産合計	22,036,331	23,259,294

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	8,450,394	7,843,570
売上原価	6,068,697	5,594,232
売上総利益	2,381,696	2,249,337
販売費及び一般管理費	2,092,465	2,287,615
営業利益又は営業損失(△)	289,231	△38,278
営業外収益		
受取利息	4,740	5,048
受取配当金	5,241	5,823
為替差益	23,891	221,612
保険解約返戻金	2,676	12,136
助成金収入	14,814	1,241
その他	17,404	8,081
営業外収益合計	68,767	253,943
営業外費用		
支払利息	26,480	18,480
その他	17,466	12,144
営業外費用合計	43,947	30,625
経常利益	314,051	185,039
特別利益		
固定資産売却益	973	2,112
投資有価証券売却益	—	6,969
特別利益合計	973	9,081
特別損失		
固定資産除売却損	0	346
投資有価証券評価損	10,072	9,959
子会社清算損	4,542	—
新型コロナウイルス感染症関連損失	—	108,561
特別損失合計	14,615	118,868
税金等調整前四半期純利益	300,409	75,252
法人税、住民税及び事業税	61,640	148,392
法人税等調整額	75,320	△35,430
法人税等合計	136,961	112,961
四半期純利益又は四半期純損失(△)	163,448	△37,709
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	159,267	△31,512
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	4,180	△6,196
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,064	△18,858
為替換算調整勘定	272,940	544,352
その他の包括利益合計	295,005	525,494
四半期包括利益	458,453	487,785
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	453,505	469,103
非支配株主に係る四半期包括利益	4,947	18,682

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	東アジア	東南アジア	北中米	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	4,803,175	2,730,218	825,653	91,345	8,450,394	—	8,450,394
セグメント間の内部 売上高又は振替高	283,497	275,313	7,629	3,368	569,808	△569,808	—
計	5,086,673	3,005,531	833,283	94,714	9,020,202	△569,808	8,450,394
セグメント利益又は 損失(△)	309,194	21,044	10,648	△35,879	305,008	9,043	314,051

(注) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額(経常利益)との差額の主な内容は次のとおりであります。

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	305,008
セグメント間取引消去	9,043
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	314,051

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	東アジア	東南アジア	北中米	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	5,189,570	1,736,044	843,034	74,920	7,843,570	—	7,843,570
セグメント間の内部 売上高又は振替高	407,072	149,952	5,160	12,737	574,922	△574,922	—
計	5,596,643	1,885,996	848,194	87,658	8,418,492	△574,922	7,843,570
セグメント利益又は 損失(△)	548,328	△162,221	△9,642	△29,981	346,483	△161,443	185,039

(注) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額(経常利益)との差額の主な内容は次のとおりであります。

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	346,483
セグメント間取引消去	△161,443
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	185,039

3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。なお、北中米には生産拠点が存在しないため、記載しておりません。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
日本	3,615,342	△22.1
東アジア	1,853,078	△33.9
東南アジア	267,282	16.7
合計	5,735,702	△25.3

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 金額は販売価格によっております。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
日本	7,832,968	25.1	8,107,420	92.9
東アジア	3,384,780	△5.7	3,680,077	45.6
東南アジア	747,674	△12.2	517,248	27.7
北中米	68,421	△37.0	41,589	△32.3
合計	12,033,844	11.3	12,346,335	71.5

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
日本	5,189,570	8.0
東アジア	1,736,044	△36.4
東南アジア	843,034	2.1
北中米	74,920	△18.0
合計	7,843,570	△7.2

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。